

令和2年6月17日

令和元年度 学校関係者評価報告書

東京日新学園
東京商科・法科学院専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人東京日新学園 東京商科・法科学院専門学校 学校関係者評価委員会は、令和元年度（2019年度）の自己点検を対象とした学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1. 実施日

令和2年6月3日

2. 学校関係者評価委員

星野 隆太郎 氏 （一般社団法人 日本商業ラッピング協会 理事）
杉本 裕 氏 （株式会社M&S サービスパートナーズ 取締役）
松田 悠太 氏 （株式会社東天紅 本校卒業生）

(事務局)

亀ヶ谷 覚 （東京商科・法科学院専門学校 校長）
井上 彰 （東京商科・法科学院専門学校 教務部長）
森田 十郎 （東京商科・法科学院専門学校 教務課長）
渡部 哲也 （東京商科・法科学院専門学校 教務課長）
影山 浩 （東京商科・法科学院専門学校 法人本部）

大項目		中項目		自己 評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
1	教育理念・目的・ 育成人材像	1	理念・目的・育成 人材像	3	<p>教育指導方針としては、就職後の早期離職を防止することなど人生における困難に立ち向かう姿勢を身に付けさせること、すなわち、「大きな壁を超えるチカラをみにつける」ことを人材育成の基本とし、学生一人ひとりと向き合う教育を行なうことが中核となる。</p> <p>授業では、各授業時間ごとのミニテストの実施や、少人数制を活かして「わからないことがあったらその日のうちに解決」することができるように、個々の学生に対応した指導を行なっている。</p>	適正に運営されている。
2	学校運営	2	運営方針	4	<p>学園全体の運営方針は理事会・評議員会で決定され、学校運営の具体的内容は校長を中心とした運営会議で定められている。そして、決定事項は、教職員会議や朝礼などで教職員に告知される。さらに、これらの決定に基づき各部署ごとにより詳細な内容が決められ実行されている。</p>	適正に運営されている。
		3	事業計画	4	<p>学校の運営方針に基づいた事業計画が毎年度作成され、各部署で当該目標を達成すべく努力している。</p> <p>各部署の達成目標に対する進捗状況等は運営会議に報告され、目標達成のために必要な方策等が検討される。</p>	適正に運営されている。
		4	運営組織	3	<p>理事会・評議員会で決定された内容は、校長以下各部署のマネージャーにより開催される運営会議で伝達・説明・確認され、学校としての適切な意思決定が行なわれている。</p> <p>各部門・各部署の役割及び所属者を明示した運営組織図がある。</p>	適正に運営されている。
		5	人事・給与制度	3	<p>要員計画・採用計画・教員研修計画を通じて、人材の適正な確保と育成が行なわれている。</p> <p>また、人事・給与に関する規程も整備されており、法人本部により適切に運用されている。</p>	適正に運営されている。
		6	意思決定システム	3	<p>意思決定システムは整備されており、規則・規程等で明確になっている。また、意思決定までの合計形成も諸会議や稟議制度により合理的に進められている。</p>	適正に運営されている。
		7	情報システム	3	<p>学校における管理システムの多くはすでに導入されている。</p>	適正に運営されている。

大項目		中項目		自己 評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
3	教育活動	8	目標の設定	3	<p>教育課程(カリキュラム)の編成にあたっては、社会・時代のニーズを反映したものを作成し、適切な教育を適用するようにしている。</p> <p>各学科の教育目標、学習目標は、学生にもわかりやすい言葉で具体的に表現し、ハンドブックという形で在學生に提供している。</p>	適正に運営されている。
		9	教育方法・評価等	3	<p>実学実践をこれまで以上に業界・企業と連携して開発・導入していくことが必要である。</p> <p>就職に向けて、資格取得はもとより、さらに人間力・コミュニケーション力を強化していくことが必要である。</p> <p>学生に対して定期的に授業アンケートを実施しており、教員の講義技法の改善や向上の資料の1つとしている。</p>	就職指導においては、進路決定や内定指導だけでなく、社会人としての在り方、考え方等を身に付ける指導も強化を。
		10	成績評価・単位認定等	3	<p>成績評価・単位認定は客観的な基準に基づいて実施するように指針が決められており、それに従って実施され、確認も行なわれている。</p>	適正に運営されている。
		11	資格・免許取得の指導体制	3	<p>資格については、各学科において目標とする資格・推奨する資格を定め、入学案内(パンフレット)及び入学後の学生ハンドブックでも明示している。</p> <p>実務において必要とされる検定資格、国家資格、公務員試験等の取得・合格の目的に沿った十分なカリキュラム編成を行い、目標とするレベルから逆算して過不足のない科目、授業時間、進度を設定している。</p>	適正に運営されている。
		12	教員・教員組織	3	<p>教員の専門性や授業力については、学生の授業評価アンケートを実施することでその把握を行なっている。各教員の資質向上については、個々の教員が個別に行なっているが、教員間での授業見学や模擬授業研修などを実施することでその向上を図っている。</p> <p>また、今後は教員の専門性・実践性を高めるため企業や業界団体との連携による研修を更に進めていく必要がある。</p>	適正に運営されている。

大項目		中項目		自己 評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
4	学修成果	13	就職率	2	<p>就職については、1年次から関連科目の授業を行ない、就職率100%を目標に取り組んでいる。学科により取組が異なるが、キャリアサポート室が全体を取りまとめ学生への指導を行なっている。</p> <p>具体的な就職指導は、担任が中心となり学生個人の適性及び能力と属性を十分に考慮した指導を行っており、適宜キャリアサポート室が支援・指導している。</p> <p>今後は個々の学生に対応した多様な就職先の開拓と学生に内定を獲得できる資質(スキルと人間性)を向上させる指導をさらに強めていく。</p>	就職の指導方針、指導方法は良いと考えるが、個々の担任の能力に左右される部分もあるので、キャリアサポート室やマネージャーの関りをより強めるとともに、個々の担任の能力の向上・平準化に努めてほしい。
		14	資格・免許の取得率	2	各学科ごとに取得目標資格を定め、それぞれ対策体制を整えている。	検定ごとに難易度が異なるので単純に合格率だけでは比較できないが、より合格率を高めるためにそれぞれ努力してほしい。
		15	卒業生の社会的評価	2	<p>卒業生の就職先には、キャリアサポート室の教員と担任が訪問している。</p> <p>また、担任が卒業生と相互連絡ができる関係を構築している場合もある。</p> <p>さらに、キャリアサポート室の教員および一般教員が企業を訪問し、企業ニーズの把握や卒業生の働きぶりなどを確認している場合もある。</p>	各学科の主要目標業界・職種に就職した卒業生についての入社後の情報を取得し、在校生の指導に活かす方策をより具体的に検討してほしい。

大項目		中項目		自己 評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
5	学生支援	16	就職等進路	3	就職指導については、2年間のカリキュラムの一環としてキャリアプログラムが組み込まれている。	適正に運営されている。
		17	中途退学への対応	2	学生が退学を選択するきっかけとなる時期・理由は多様化しており、入学時、長期休暇の前後、年末年始、学年末、新年度等の節目節目に担任による面談等を実施し、その兆候を発見するとともに早期の対応をするよう努力している。	企業でも些細なことでやめてしまうケースが増えている。特に環境変化に対応できないケースが多い。入学後3～4か月(夏休み前まで)の期間の対応が重要であり、効果があると考えられる。また、目的意識を持たずに入学してきた学生に対する対応も同様であろう。
		18	学生相談	3	学生の状況を担任が毎週確認できるように、週に1回は必ず担任がクラスの授業を行なうようにしている。これにより、早期に学生の情報を把握できるようにしている。 また、入学後長期の休み前など節目ごとに学生との個別面談を行なう機会を設けて、その都度、生活状況、進路(目標)、学習状況等についての学生の状態を把握し対応している。 これらの情報については指導記録に残し、学生指導についてのケーススタディ(教員研修等)の資料にも使用している。	適正に運営されている。
		19	学生生活	3	より多くの学生が就学できるように、経済面、環境面などについて支援体制を整備している。 今後もニーズに合わせ、必要な支援体制を整備していく。	適正に運営されている。
		20	保護者との連携	3	保護者への連絡・報告は、入学直後、長期休暇前、前期後期成績確定後、年末等、定期的に行なっている。 保護者と学校との役割分担については、「学校では厳しく、家庭ではやさしく」を基本として対応することとしている。	専門学校への進学から専門学校卒業後の就職先の選択まで保護者が関与する比重が高まっている。今後も保護者への対応を十分に行い、教育内容の理解を深めていくことが必要である。
		21	卒業生・社会人	2	卒業生の支援については、旧担任と学科マネージャー、キャリアサポート室の教員が中心で対応している。担任・学科マネージャーは生活環境等を含めた全般について、キャリアサポート室は就職・進学を主に対応している。 社会人に対しては、再進学制度による進学支援が中心である。	適正に運営されている。 なお、卒業生への支援も必要だが、まずは在校生への教育を強化していることが重要ではないか。

大項目		中項目		自己 評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
6	教育環境	22	施設・設備等	3	<p>施設・設備等については関係法令に適合するように最善を図っている。</p> <p>図書コーナー、PC教室及びPC利用コーナー等は整備済み。</p> <p>学生の休憩・食事のためのスペースの確保も最低限行なっている。</p>	Wifi環境の整備等、引き続き学生が利用しやすい環境を整備してほしい。
		23	学外実習、インターンシップ等	3	<p>学外実習については、専門学校として実践教育を高めていく必要があり、今後さらに充実させていく必要がある。</p> <p>海外研修については、経費や安全性等の面から実施を取りやめている。</p> <p>インターンシップについては、夜間部の学生は必須であり、昼間部の学生については、任意に又は就職活動の一部として行なっている。</p>	適正に運営されている。
		24	防災・安全対策	2	<p>基本的な安全計画は策定しているが具体的な面はまだ不十分である。</p> <p>避難経路・避難場所、誘導の方法等の再確認が必要である。</p> <p>今後は、独自の避難訓練を行なうとともに、消防署等の指導による訓練の実施も検討したい。</p> <p>学校は学生及び教職員の安全を第一とすべきと認識しており、危機管理マニュアルを常に見直し安全対策や災害時の適切な対応ができる体制を整える。</p>	検討事項を具体化して、より防災・安全対策を充実させてほしい。

大項目		中項目		自己 評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
7	学生の募集と受入れ	25	学生募集活動は適正に行われているか	3	<p>学生及び保護者、高校教員に対して、的確な情報を提供し、進路選択についての誤解のないようにしていくため努力している。</p> <p>留学生については、日本語学校への情報提供、連携を強めていくとともに、適正な受け入れ、能力に応じた教育、適切な在籍管理を行っていく。</p>	適正に運営されている。
		26	入学選考	3	<p>出願者である各学生に対して書類選考を行っている。また、必要に応じて面接等も実施し、入学直後の進路変更がないように事前確認を行っている。</p> <p>入学選考時に把握した情報は担任レベルまで落とし込む体制ができています。</p>	適正に運営されている。
		27	学納金	4	<p>学納金に関しては、教材費等を含めた金額を提示し、入学希望者の家計負担金をトータルにイメージできるようにしながら、家計の過大な負担にならない金額を設定するように考慮している。</p> <p>また、学費納入についても、滞ることがないように、状況を確認している。</p>	適正に運営されている。
8	財務	28	財務基盤	3	<p>学生募集については、学科・コースにより変動はあるが、学校全体としては良好といえ、財務基盤は安定している。</p> <p>具体的にはキャッシュフロー、消費収支差額比率などの数値が良好である。</p>	適正に運営されている。
		29	予算・収支計画	4	<p>当年度の重点項目・前年度実績予想との整合性を図りながら、健全な予算編成を行っている。また、執行については定期的に運営会議で状況を確認している。</p>	適正に運営されている。
		30	監査	4	<p>学校法人監事による業務監査により、法令または寄付行為の遵守と学園の財務の適正性を確保するようにしている。</p>	適正に運営されている。
		31	財務情報の公開	3	<p>本校の財務情報については、本校ホームページで公開している。</p>	適正に運営されている。

大項目		中項目		自己 評価	総括	学校関係者の評価・提言
No.	項目	No.	項目			
9	法令等の遵守	32	関係法令、設置基準等の遵守	3	設置基準及び関係法令等に基づき、学校運営を行っており、必要な諸届等は適切に行なっている。 教職員及び学生に対する法令遵守の方針・姿勢の周知徹底をさらにしていく。	適正に運営されている。
		33	個人情報保護	3	個人情報については、個人情報保護法の趣旨に則り、在学生及び資料請求者、学校説明会参加者、出願者等の個人情報を慎重に取り扱っているが、今後さらに管理を徹底させていく方針である。	適正に運営されている。
		34	学校評価	3	学校関係者評価の体制を充実させその成果を具体的な教育内容に反映していくように努めていく。 学校関係者評価については本校ホームページで公開している。	適正に運営されている。
		35	教育情報の公開	2	本校の概要や教育内容については、本校のホームページ等で公開している。しかし、教職員の情報に関しては対象としておらず、今後の検討課題となっている。	適正に運営されている。
10	社会貢献・地域貢献	36	社会貢献・地域貢献	2	付帯教育事業については、近年は休止しているが、時代・社会のニーズに応える教育事業については検討していきたい。 地域社会への貢献についても具体的にどのようなことが可能か検討していきたい。 留学生については、夜間部と昼間部の公務員関係のコース以外のすべての学科・コースで受け入れ可能である。	適正に運営されている。 なお、留学生については、近隣住民の方々の協調性をより図ってほしい。
		37	ボランティア活動	2	公共・公益団体等からのボランティア活動募集について校内掲示板にポスターの掲示を行なうなど学生に対して積極的に案内・奨励を行なっているが、実際にボランティア活動に参加する学生は多くはない。	東京オリンピックの開催や災害復興等に関連してボランティア活動が注目されているので、引き続き学生に対する意識付けを続けてほしい。